

Withコロナ時代の コミュニケーションに必要な 「論理的文章力」育成コンテンツのご紹介

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

(公財)日本漢字能力検定協会の活動紹介(一部)

日本語・漢字を学ぶ楽しさを提供し、豊かな社会の実現に貢献します

普及啓発・
教育支援活動

- ・今年の漢字®
- ・漢字ミュージアム など



調査・研究活動

- ・漢字文化研究所

漢字文化研究
日本語・漢字教育研究

- ・京都大学×漢検
研究プロジェクト

ライフサイクルと漢字神経
ネットワークの学際研究

人工知能(AI)による
漢字・日本語学習研究 など

日本語能力
育成活動

- ・検定・テストの実施 など



本日のプログラム

1. Withコロナ時代のテレワークに関する意識調査結果
2. 「論理的文章力育成コンテンツ」のご紹介

1. Withコロナ時代のテレワークに関する 意識調査結果

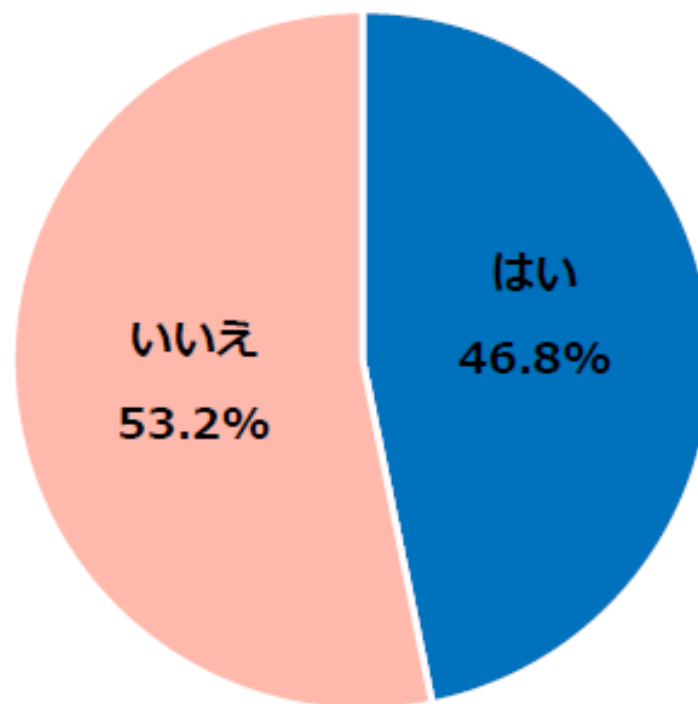
調査概要

- 調査実施元：公益財団法人 日本漢字能力検定協会
- 調査期間：2020年12月15日（火）～2020年12月17日（木）
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：テレワークを経験したことがあるオフィスワーカー
- 回答者数：534名

テレワークによる生産性の変化

テレワークにより「生産性が高まった」と思う人は半数を下回る結果に。

Q.あなたは、テレワークを活用した結果、生産性が高まったと思いますか。(n=534、単一回答)

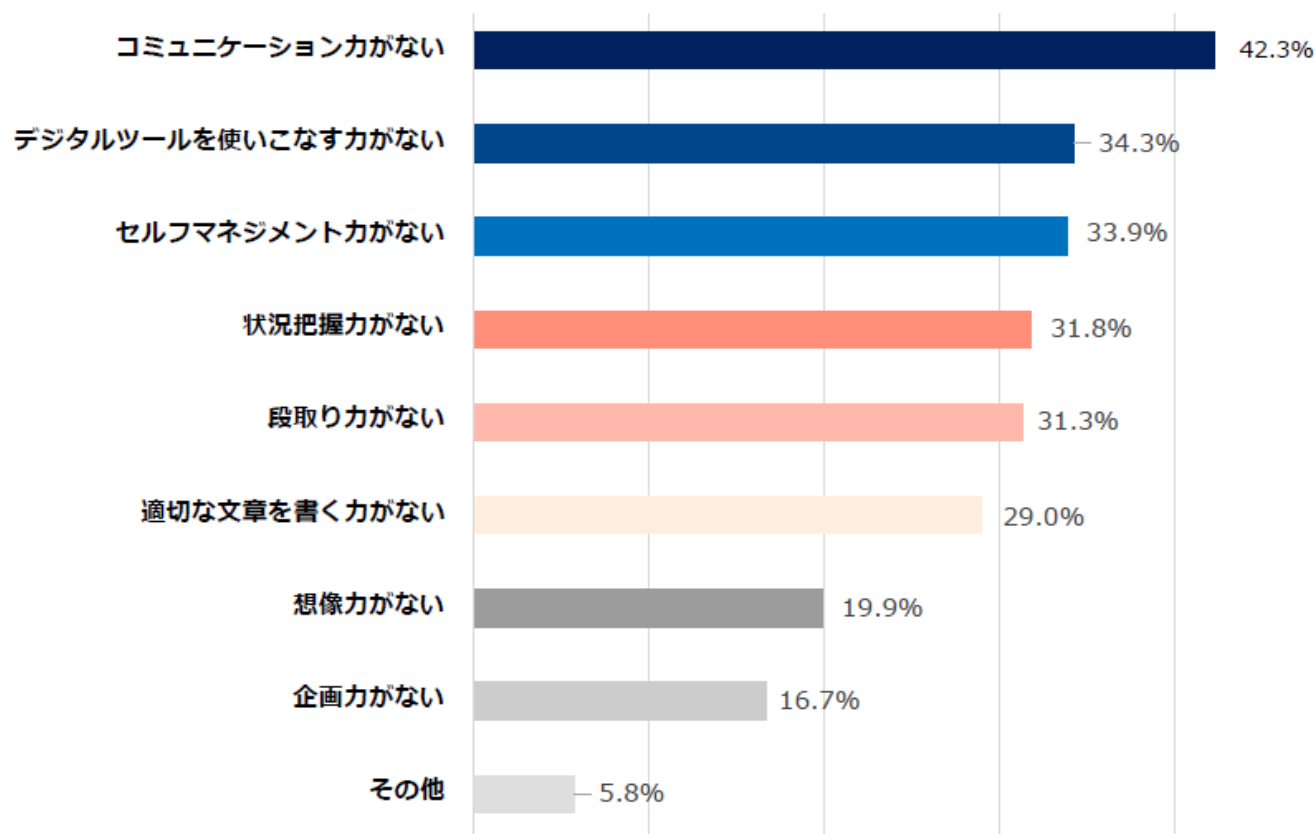


テレワークで「生産性を下げると思う要素」

「コミュニケーション力がない」(42.3%)が第1位に。

Q.テレワークで生産性を下げる要素は何だと思いますか。

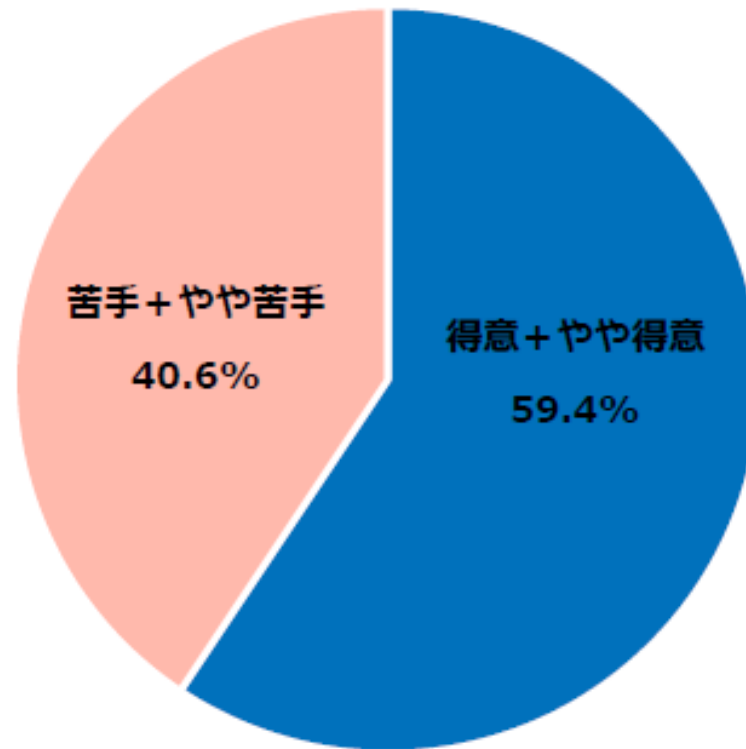
あてはまるものをすべてお答えください。(n=534、複数回答)



文章によるコミュニケーションに対する意識

「得意・やや得意」と答えた人が6割に上った。

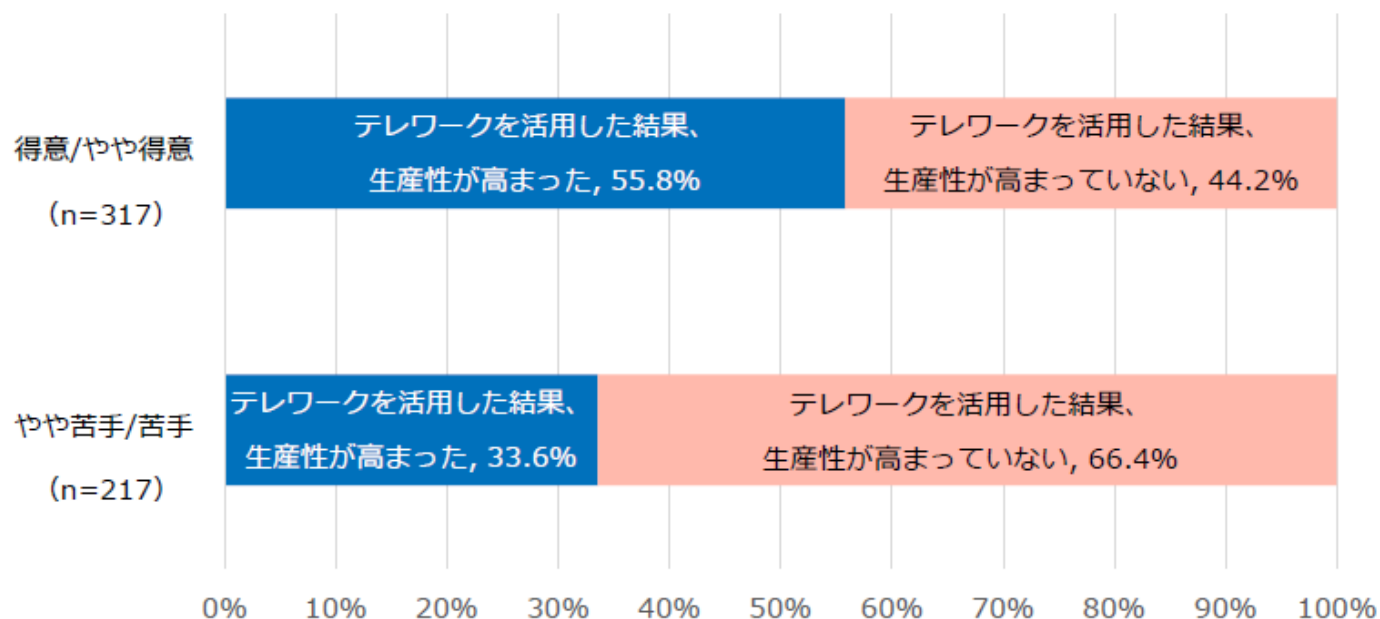
Q. あなたは、文章によるコミュニケーションが得意ですか。 (n=534、単一回答)



文章によるコミュニケーションに対する意識 と生産性のつながり

文章によるコミュニケーション力が生産性の向上
あるいは低下に影響している可能性がうかがえる。

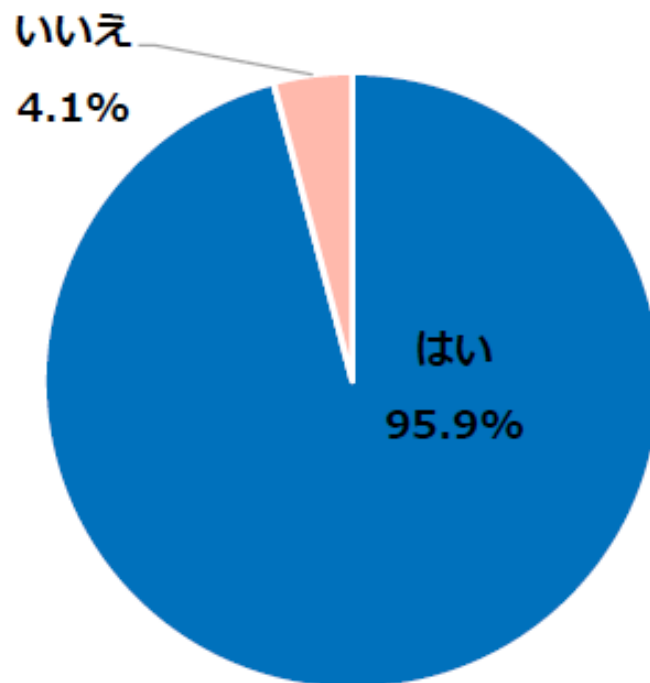
Q.あなたはテレワークを活用した結果、生産性が高まったと思いますか。
(「あなたは文章によるコミュニケーションが得意ですか」の回答別) (n=534、単一回答)



ビジネスにおける文章力の必要性

約96%の人が、文章力は必要だと認識している。

Q.あなたはビジネスにおいて文章力は必要であると思いますか。(n=534、単一回答)

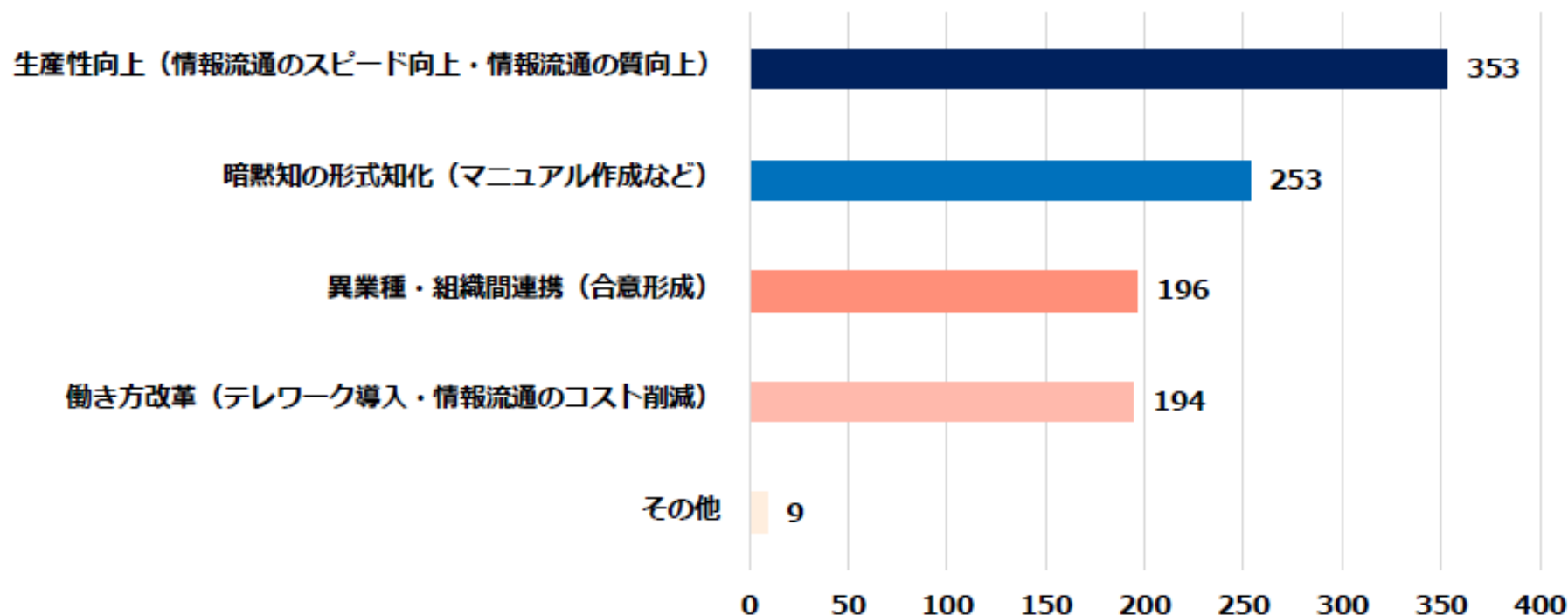


ビジネスにおいて文章力が必要である理由

「生産性の向上（情報流通のスピード向上・情報流通の質向上）」が第1位に。

Q. 文章力が必要であると思う理由について、あてはまるものをお答えください。

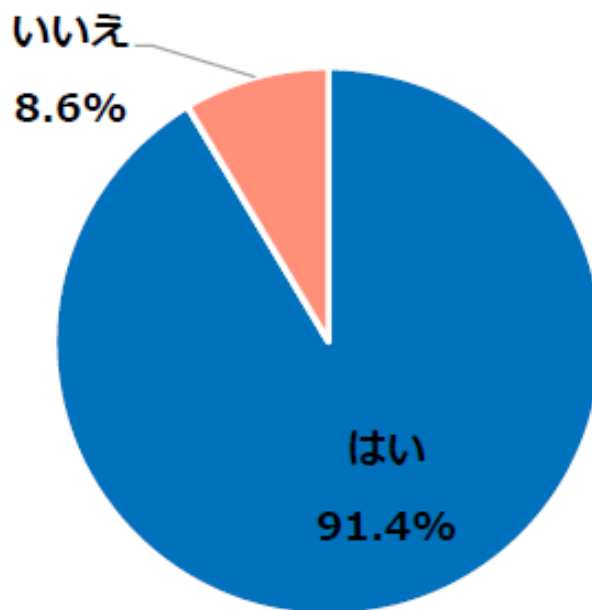
(n=512、複数回答)



業務の生産性を高めることに対する 文章力向上の意識

約91%の人が、文章力を高めたいと考えている。

Q. あなたは、日常業務全般での生産性向上のために文章力を高めたいと思いますか。
(n=512、単一回答)

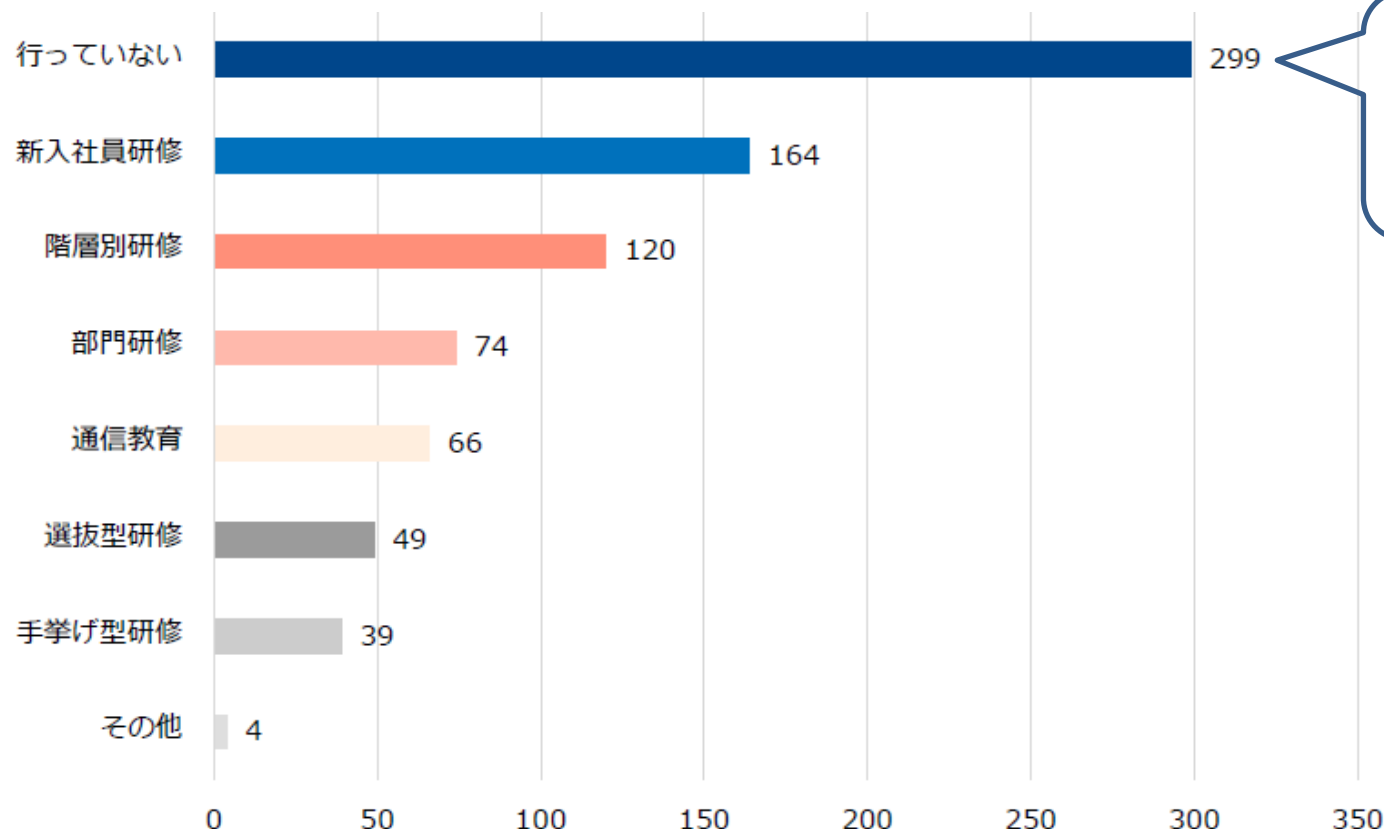


文章力向上のための研修環境

社員の文章力向上の意識と企業の研修環境との乖離が生じている。

Q. あなたが勤務する会社では、文章力向上のための研修を行っていますか。

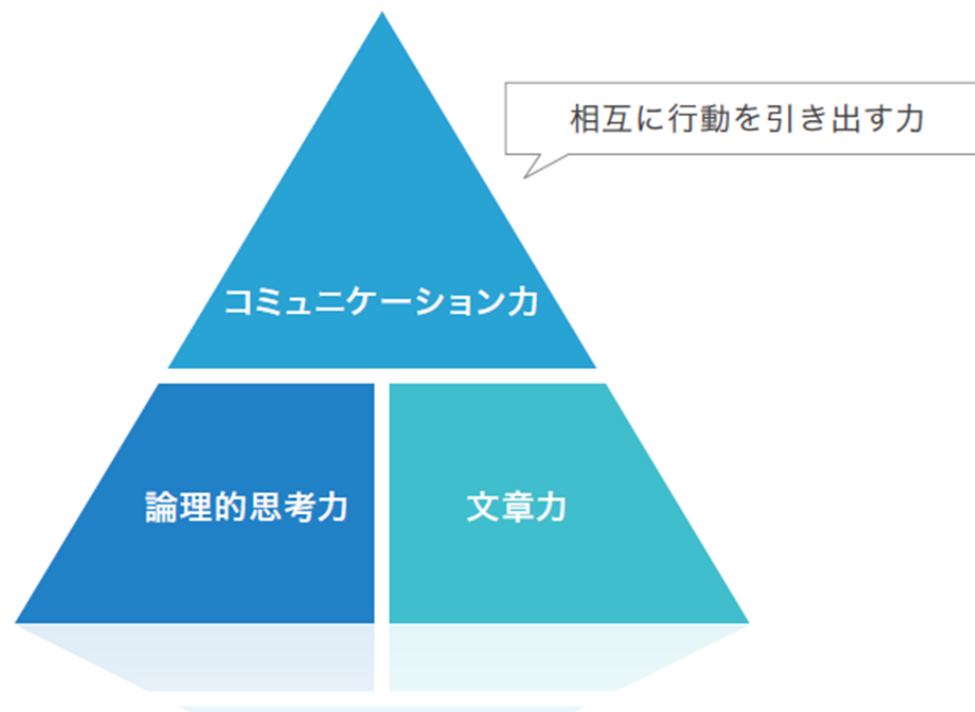
行っている研修について、あてはまるものをお答えください。(n=534、複数回答)



全体の
56%

2.『論理的文章力育成コンテンツ』 のご紹介

「論理的文章力育成 コンテンツ」のコンセプト



コミュニケーションとは、「相手の情報を正確に受け取り行動する」
「相手に情報を的確に伝えて行動を引き出す」ことです。

論理的な文章読解・作成の訓練は
コミュニケーション力＝相互に行動を引き出す力を鍛えるトレーニングになる

論理的文章を作成するプロセス

論理的文章には完成までの「プロセス」があり、プロセスごとに必要な能力は異なります。必要な能力を個別に鍛えることで、効率的・効果的に文章力を向上させることができます。

【例】提案書を作成する

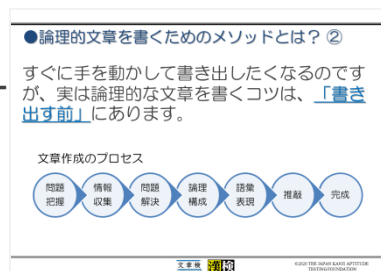


「論理的文章力育成コンテンツ」のご紹介

① 講師派遣型研修

論理的文章を書くためのメソッドとは
「文章検」の主なメソッドを抜粋し、ワークを通して論理的文章を書くためのメソッドを身に付けていただきます。
オンラインでの実施についてはご相談ください。

価格：講師1人派遣につき220,000円
(税込)



② e-ラーニング

全社員に必要な論理的文章力
すべての社員に必要な「業務の
質と効率を上げるための文章力」
の育成を目指すeラーニング。
価格：8,250円（1名あたり、税込）



③ テキスト

公式テキスト

詳しい解説と演習で実力を養成できる教材。

価格:495円(税込)

基礎から学べる！ 文章力ステップ

基礎から実践レベルまで段階的に
ステップアップする構成で、無理なく
文章力を身につけられる問題集。

価格:770円(税込)

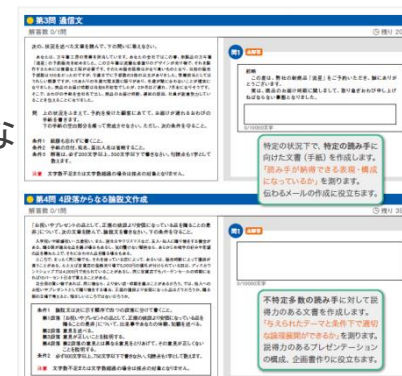


④ アセスメント

論理的文章カトレーニング for Business (以下、論トレ)

ビジネスシーンで使える実務的な文章力のアセスメントツール。PCとインターネット環境があれば、好きなタイミングで実施可能。

価格:5,000円(1名あたり、税込)



アセスメント (アドバンスレベル) の出題例

● 第1問 レポートの構成

解答数 0/4問

🕒 残り 10:00

次は、アンケート調査の回答結果のデータ入力・集計・分析を請け負う、データ入力会社の社員が作成したレポートの構成表です。これを読んで、右の問い (問1・問2) に答えなさい。

【レポートの構成表】

標題：データ入力ミスの実態について

1 (①)

最近データ入力ミスへのクレームが増えている。これに対処するには、現状を把握する必要がある。そのために今回は入力時間帯別のミス発生状況を明らかにする。

2 調査概要

(② 内容の数：2個 ※解答欄の記号を2つ選択すること)

3) 調査方法：入力した時間帯ごとに、ミスを種類別に分類し、整理する。

3 (③)

時間帯 (時)	10~12	13~15	15~17	17~19	合計	
入力件数	887,054	1,033,301	1,137,333	152,707	3,210,395	
ミス件数	37	359	278	11	685	
ミス発生率	0.004%	0.035%	0.024%	0.007%	0.021%	
ミス内訳	数字	22	136	114	5	277
	漢字変換	8	72	67	3	150
	英字	4	101	72	2	179
	カナ文字	3	50	25	1	79

4 考察と提案

(④ 内容の数：2個 ※解答欄の記号を2つ選択すること)

以上

レポートの目的に照らして、適切に項目と内容を構成します。

「情報を構造的に整理できるか」

を測ります。

明確な報告書作成に役立ちます。

問1 未解答

構成表中の1~4は、レポートを構成する要素です。空欄①・③に入る見出しとして最も適切なものを、A~Eのうちから1つずつ選びなさい。ただし、A~Eの項目は1度しか使えません。(完全解答)

A 調査目的 B 調査のきっかけ C 結果予測
D 入力データ E 調査結果

1 空欄①

☐ A ☐ B ☐ C ☐ D ☐ E

2 空欄③

☐ A ☐ B ☐ C ☐ D ☐ E

問2 未解答

構成表中の空欄②・④で述べる内容として適切なものを、ア~エのうちから2つずつ選びなさい。

1 空欄②

- ☐ ア 1) 調査期間：20xx年10月1日~10月31日
- ☐ イ 1) 調査期間：1か月間
- ☐ ウ 2) 調査対象：アンケート調査の回答の項目データ全入力分 (3,210,395件)
- ☐ エ 2) 調査対象：1か月間に入力した全データで、およそ300万件とする。

2 空欄④

- ☐ ア 13時~15時のミス発生率が高い。報告者の経験から数字の入力には間違いが多いことはうなずける。
- ☐ イ 13時~15時のミス発生率が高く、昼休み直後の注意力低下が推測される。適切な声かけなどの工夫が必要であろう。
- ☐ ウ 数字入力のミスが最も多いのは、現データ中に数字の占める割合が高いことに加え、数字単体では意味を持たずミスに気づきにくいためである。ペリファイ (検査) 入力後のフローを見直すことを提案する。
- ☐ エ 大量のデータ入力を行った場合、ミスをゼロにすることは不可能であるが、ミス発生の傾向を調べることは興味深いアプローチである。ミス発生の削減のために、精度の高い確認作業を促すことを提案する。

アセスメント (アドバンスレベル) の出題例

※画像は開発中のイメージです。

第2問 文章読解、要約

解答数 0/2問

🕒 残り 25:00

次は、OJTに関して書かれた文章です。これを読んでこの文章を要約します。
後に示した要約文を完成させるために、右の問い (問1・問2) に答えなさい。

企業にとって、新入社員育成は重要な課題である。そのための方法として、近年はOJTが主流となっている。OJTとは「on-the-job training」の略で、実際の業務を通じて先輩や上司が新入社員を指導し、仕事に必要な知識や技能を教える方法のことだ。

そこで、OJT実施の実態を調べるため、新入社員に対し半年以上のOJTを行っている複数の企業を対象にアンケート調査を行った。図1は、OJTの成果があがっているかどうかを人材育成担当者に尋ねたものである。「十分に成果があがっている」という全面肯定、「どちらかといえば成果があがっている」という部分肯定を合わせれば全体の71.4%になり、肯定的な回答が大半を占めていることがわかる。しかし、「十分あがっている」という回答は14.6%にとどまっていることに留意したい。「どちらかといえば成果があがっている」という回答は、「何らかの面で不都合はあるが」という含みをもつ、つまり、全面肯定以外の85.4%は、程度の差があるにせよ、OJTに何らかの問題点を感じているということだ。

このOJTの問題点について、実際にOJTを担当している社員に複数回答で答えてもらった。その上位5項目を図2に示している。1位は「時間不足」という回答で75.3%、2位には62.7%の「制度の未整備」という回答が続いている。この2つはいずれも企業の体制が主因だと考えられる。たとえば、OJT担当者の業務量の調整や、OJTに関連するガイドラインの作成など、OJTを支える体制が企業内に確立していないということだろう。一方、「教える方がわからない」「何を教えていいかわからない」という回答はOJT担当者の能力にかかわり、教育方法に関する「スキル不足」や教育内容についての「理解不足」を示すものである。それぞれ59.3%、51.9%となっており、いずれも50%を超えた回答があることから、担当者の2人に1人は、OJTを適切に行う能力に不安があると考えられる。

以上から、OJTを効果的に活用して新入社員育成の成果をあげるためには、まず企業の体制を整備しなければならない。次にOJT担当者への支援や教育を行い、「何をどのように教えるか」を指導する必要があると考えられるのである。

図1 OJTの成果

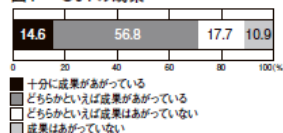
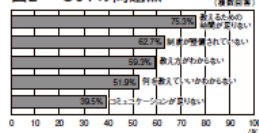


図2 OJTの問題点



【要約文】

企業にとって重要な課題である新入社員育成は、近年OJTが主流となっている。
そこで、OJT実施の実態について、複数の企業を対象にアンケート調査を行った。OJTの成果があがっているかどうかを人材育成担当者に尋ねた結果、「十分あがっている」「どちらかといえばあがっている」という肯定的な回答が全体の約71%だが、全面肯定は約①にとどまっており、これ以外の約②はOJTに問題点を感じることがうかがえる。

以上から、OJTを効果的に活用して新入社員育成の成果をあげるために、企業の体制整備とOJT担当者への支援や教育が必要だと考えられる。

問1 未解答

空欄①・②にあてはまる数値の組み合わせとして正しいものを、ア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア ①15% ②57% ○ イ ①15% ②85%
○ ウ ①56.8% ②85.4% ○ エ ①14.6% ②71.4%

問2 未解答

空欄の部分にあてはまる文章を補いなさい。

解答は、必ず80文字以上、180文字以下で書きなさい。句読点も1字として数えます。

注意 文字数不足または文字数超過の場合は採点の対象となりません。

0/10000文字

文章とデータを読み取り、要旨を短くまとめます。

「定量・定性の情報を読んで、重要なポイントを逃さず、要約できるか」を測ります。

簡潔な議事録作成に役立ちます。

アセスメント（アドバンスレベル）の出題例

● 第3問 通信文

解答数 0/1問

🕒 残り 20:00

次の、状況を述べた文章を読んで、下の問いに答えなさい。

あなたは、万年筆工房の営業を担当しています。あなたの会社ではこの春、新製品の万年筆「流星」の予約販売を始めました。この万年筆は流麗な漆塗りのデザインが売り物で、それを製作するためには複雑な工程が必要です。そのため販売価格はかなり高いものとなり、当初の販売予想数は100本だったのですが、今週までに予想数の3倍の注文がありました。営業担当としてはうれしい誤算ですが、1日あたりの生産可能本数に限りがあり、生産が間に合わないことが現実になりました。商品のお届け時期は当初6月初旬でしたが、2か月ほど遅れ、7月末になりそうです。そこで、おわびの手紙を会社名で出し、商品のお届け時期、遅延の原因、社員が鋭意努力していることを伝えることになりました。

問 上の状況をふまえて、予約を受けた顧客にあてて、お届けが遅れるおわびの手紙を書きます。

下の手紙の空白部分を補って完成させなさい。ただし、次の条件を守ること。

条件1 結語も忘れずに書くこと。

条件2 手紙の日付、宛名、差出人名は省略すること。

条件3 解答は、必ず200文字以上、350文字以下で書きなさい。句読点も1字として数えます。

注意 文字数不足または文字数超過の場合は採点の対象となりません。

問1 未解答

前略

この度は、弊社の新商品「流星」をご予約いただき、誠にありがとうございます。

実は、商品のお届け時期に関しまして、取り急ぎおわび申し上げます。ねばならない事態となりました。

0/10000文字

特定の状況下で、特定の読み手に向けた文書（手紙）を作成します。
「読み手が納得できる表現・構成になっているか」を測ります。
伝わるメールの作成に役立ちます。

アセスメント（アドバンスレベル）の出題例

● 第4問 4段落からなる論説文作成

解答数 0/1問

🕒 残り 35:00

「お祝いやプレゼントの品として、正規の値段より安価になっている品を贈ることの是非」について、次の文章を読んで、論説文を書きなさい。下の条件を守ること。

入学祝いや結婚祝い・出産祝い、また、誕生日やクリスマスなど、友人・知人に贈り物をする機会がある。贈る側が適当な品を選ぶ場合もあるし、気の置けない同柄なら、あらかじめ相手の好みや希望の品を尋ねた上で、それに合わせた品を贈る場合もある。

ところで、まったく同じ物でも、それを扱っている店によって、あるいは、販売時期によって値段が違ふことがある。たとえば百貨店の食器売り場で5,000円の値札が付けられている皿は、ディスカウントショップでは4,000円で売られていることがあるし、同じ百貨店でもバーゲンセールの際になれば10パーセント引きで買えることがある。

自分用の買い物であれば、同じ物なら、より安い店・時期を選ぶことがあるだろう。では、他人へのお祝いやプレゼントとして贈り物をする場合、正規の値段より安価になった品はどうだろうか。贈る側の立場で考えると、悩ましいところではないだろうか。

条件1 論説文は次に示す順序で4つの段落に分けて書くこと。

第1段落 「お祝いやプレゼントの品として、正規の値段より安価になっている品を贈ることの是非」について、出来事やあなたの体験、知識を述べる。

第2段落 意見を述べる。

第3段落 意見が正しいことを説明する。

第4段落 第2段落の意見とは異なる意見をとりあげて、その意見が正しくないことを説明する。

条件2 必ず600文字以上、750文字以下で書きなさい。句読点も1字として数えます。

注意 文字数不足または文字数超過の場合は採点の対象となりません。

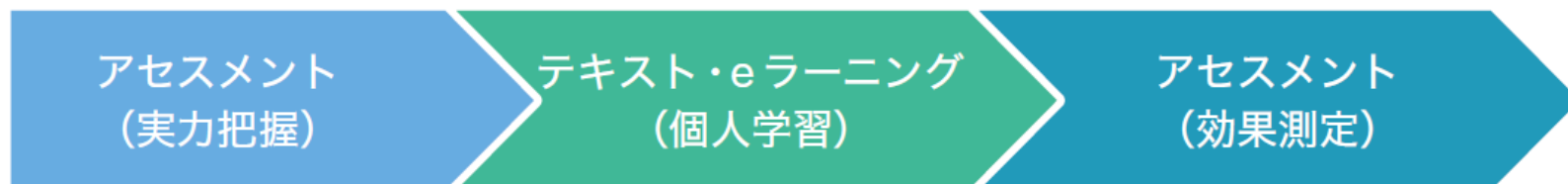
問1 未解答

0/10000文字

不特定多数の読み手に対して説得力のある文書を作成します。
「与えられたテーマと条件下で適切な論理展開ができるか」を測ります。
説得力のあるプレゼンテーションの構成、企画書作りに役立ちます。

「論理的文章力育成コンテンツ」ご活用モデル

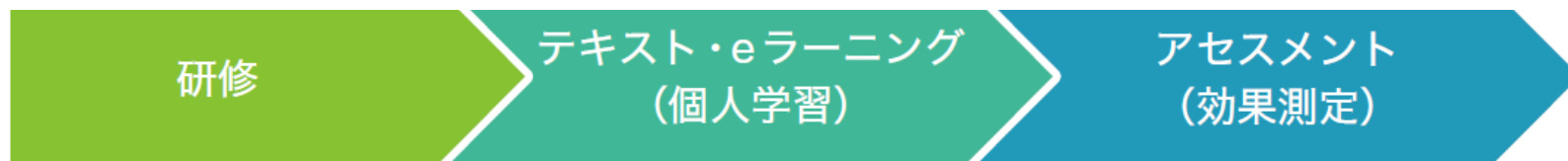
Model A



Model B



Model C



Model D



※社内平均点や社会人平均点を参考にご設定いただけます。

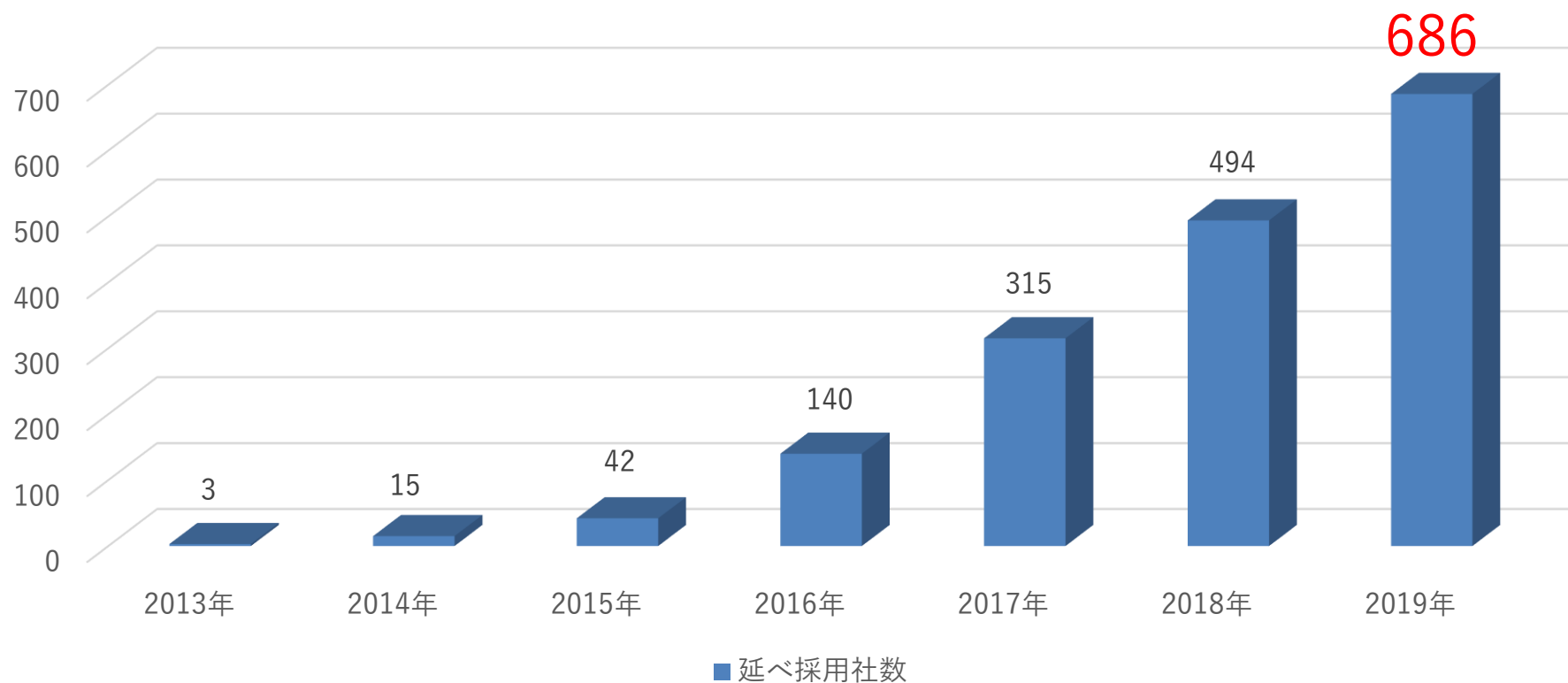
「論理的文章力育成コンテンツ」は、
業種を問わず様々な企業で採用されています。



その他、実績多数

コンテンツ採用実績

延べ採用社数



本日はありがとうございました。

貴社・貴部門の人材育成でのご活用を検討
いただける場合は以下の連絡先まで、
ご連絡いただけますと幸いです。

お問合せ先：

公益財団法人 日本漢字能力検定協会
オンライン無料体験会運営事務局

MAIL：bunshoken_company@kanken.or.jp